

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 大阪府立長野高等学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒586-0021

大阪府河内長野市原町2丁目1番1号

E-mail \_\_\_\_\_

Website http://www.osaka-c.ed.jp/nagano/

幼児児童生徒数 男子 283 名 女子 501 名 合計 784 名

幼児・児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、ESDを「より平和で持続可能な社会・世界を築くため、自己および他者を尊重する姿勢を育むものであり、自ら持続可能性に関わる知識を得、考え、行動や態度に移していくもの」と捉えている。当校はESDの実践を通して、「平和」や持続可能性、それらを阻害する諸問題について知り、解決策を考え、より良い世界の実現のために主体的・共同的に行動する力の育成を目標としている。具体的には、①国際理解・国際交流に係わる活動、②ユネスコスクールとの交流に係わる活動、③フェアトレードに係わる活動を行った。

### ①国際理解・国際交流に係わる活動

- ・アメリカ・ハワイ、ネパール、フィリピン、キルギス、中国からの海外帰国生徒6名に対する継続的な日本語指導、学習支援、進路指導（「海外帰国生担当者会議」を5回開催）
- ・国際交流活動として、フィリピンからレトラン学院訪日団、デンマークからEisbjerg International School 高校を受け入れて交流

- ・短期留学生 2 名（韓国、アメリカ）、長期留学生（ドイツ、オーストラリア ※聴講生含む）2 名を受け入れ
- ・長期留学生 3 名を派遣（エストニア、アメリカへ 2 名）
- ・オーストラリア・サンベリーへホームステイ研修団 20 名、フィリピン・セブ島へ語学・現地交流研修団 20 名を派遣
- ・台湾修学旅行にて現地の高校と交流
- ・「国際理解講演授業」の実施
  - 1 年生：「外国を知る」をテーマとし、諸外国についての調べ学習とプレゼンテーション、それぞれの国出身の講師の方を招いての学習会を実施
  - 2 年生：日本国際飢餓対策機構より講師をお迎えし、「世界の貧困と教育格差」をテーマに講演会を実施
  - 3 年生：海外でボランティア活動を経験された方や海外の方と多く関わる仕事に携わる方を講師にお迎えし、講演会を実施

#### ②ユネスコスクールとの交流に係わる活動

- ・大阪 ASPnet 加盟校として、「日中 ESD/GAP 推進 ESD 国際ワークショップ（日中 ESD 学びあい交流会 2017）」および準備セミナーに参加
- ・「国際連合大学 日韓（韓日）教員交流 韓国教職員しょうへいプログラム」において、大阪 ASPnet 加盟校として韓国教員と生徒が交流、教員がホームビジットの受け入れ
- ・「第 9 回ユネスコスクール全国大会」に教員が出席

#### ③フェアトレード活動

- ・フェアトレードカフェの企画・運営（夏休み～文化祭）
- ・近隣の大学の学生団体を講師にお迎えして、「フェアトレード講演会」を実施
- ・フィリピン・セブ島への語学・現地交流研修団が、現地にてフェアトレードの NPO 団体、フェアトレードショップを訪問し、話を伺った

#### ④その他

- ・ペットボトルキャップの回収
- ・「ハンガー・ゼロ」募金活動を実施
- ・「第 13 回河内長野イングリッシュ・フェスティバル」を実施
- ・第 2 外国語選択にフランス語、ドイツ語、韓国・朝鮮語、中国語の 4 言語体制を継続



③フェアトレードカフェの様子

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1 つのテーマについて、教科（主に国語科、社会科、英語科）の授業、部活動、生徒会活動などを互いに関連させた指導計画の立案を行っている

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

4 月に教員向けにユネスコスクールの概要、理念等についての説明を実施。また、4 月に 1 年生の生徒に向け、ユネスコスクールについての説明を実施。

1 年間のユネスコに係わる活動計画を立案（予定）。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコ・ESD の活動や国際交流に中心となって関わった生徒へのアンケートを実施した。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

主に当校ホームページ上において、ESD・ユネスコに関連する取り組みについて発信している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

特になし。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

大阪ユネスコスクール(ASPnet)ネットワーク加盟校として、大阪・奈良・京都の学校、および中国のユネスコスクールと交流している。  
(教員の会議、日中学びあい交流会および準備セミナー 等)

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

活動の際（特にフェアトレードに係わる活動において）、生徒が自主的に取り組みの企画・提案をし、生徒が主体的に取り組みの運営を考え、実行した。また終了後、自分たちで改善点を考え、来年度に活かそうとする姿勢が見られた。

学年、クラス、部活動などを超えて（大阪 ASPnet のワークショップにおいては国や学校を超えて）、積極的にコミュニケーションを取り、共に1つのものを作り上げようとする姿勢が見られた。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

①国際理解・国際交流に係わる活動（学校交流や国際理解講演授業、留学生の受け入れと派遣など）、②他のユネスコスクールとの交流（大阪ユネスコスクールネットワーク加盟校としての活動）、③およびフェアトレードに係わる活動（フェアトレードカフェの実施など）については、いずれも本年度までの取り組みを継続して実施する。

フェアトレードに係わる活動については、部活動、生徒会活動、授業、講演会などのそれぞれの活動を関連させて、系統立てて実施する予定（指導計画を立案中）である。